

令和 5 年度八千代市教育委員会第 1 回定例会

令和 5 年 4 月 1 9 日

午後 1 時 3 0 分

議 事 日 程

1 開会

2 会議録署名人の指定

3 令和 4 年度教育委員会第 1 回臨時会及び第 1 2 回定例会会議録の承認

4 報告事項

(1) 教育長報告

(2) 各課報告

5 議事

議案第 1 号 附属機関の委員の委嘱について

(八千代市いじめ問題対策連絡協議会委員)

(八千代市教育支援委員会委員)

(八千代市文化財審議委員)

(八千代市立郷土博物館協議会委員)

6 閉会

【教育長報告】

- 1 令和5年度始業式及び入学者数について

【各課報告】

- 1 「八千代市学校教育推進計画進行管理委員会報告」について（指導課）
- 2 交通安全について（保健体育課）

議案第1号

附属機関の委員の委嘱について

附属機関の委員に下記の者を委嘱したいので、ご承認願いたい。

令和5年4月19日提出

八千代市教育委員会

教育長 小林 伸 夫

記

1 八千代市いじめ問題対策連絡協議会委員

委員の任期満了に伴い、次期委員を委嘱したい。

任期：令和5年4月21日～令和7年4月20日

区分	氏名	経歴・職業	備考
いじめの防止等 に関係する機関 及び団体の職員	荻野 信治	八千代警察署生活安全課長	新任
	鈴木 美保	千葉県中央児童相談所 上席児童福祉司	再任
	川上 明治	千葉地方法務局船橋支局 民事専門官	再任
	土井 弥寿子	八千代市医師会 (どいこどもクリニック院長)	再任
	太田 信子	八千代市民生委員児童委員 協議会連合会主任児童委員	再任
	八巻 憲一	八千代市PTA連絡協議会 会長	新任
いじめの防止等 に関し学識経験 を有する者	木梨 朋幸	八千代市立勝田台小学校長	再任
	大小田 泰一郎	八千代市立大和田中学校長	新任
市の職員	島津 俊明	八千代市子ども部次長 (子育て支援課長事務扱い)	再任
	高倉 啓安	八千代市子ども部 子ども保育課長	再任

市の職員	松本 亮二	八千代市子ども部 子ども福祉課 子ども相談センター所長	新任
	設楽 憲一	八千代市教育委員会 教育次長	再任
	高原 敬介	八千代市教育委員会 指導課長	再任
	丹治 貴史	八千代市教育委員会 青少年センター所長	新任
	内藤 俊夫	八千代市教育委員会 適応支援センター所長	再任

2 八千代市教育支援委員会委員

香取聖子委員，小宮裕子委員の退任に伴い，新たな委員を委嘱したい。

任期：令和5年4月19日～令和6年3月31日

区分	氏名	経歴・職業	備考
教育職員	小坂 真一	千葉県立八千代特別支援 学校長	新任
	宍浦 智子	八千代市立八千代台小学 校長	新任

3 八千代市文化財審議委員

日塔和彦委員の退任に伴い，新たな委員を委嘱したい。

任期：令和5年4月19日～令和5年9月30日

区分	氏名	経歴・職業	備考
文化財に関し識見 の高い者	金出 ミチル	東京藝術大学大学院 非常勤講師	新任

4 八千代市立郷土博物館協議会委員

鈴木利明委員の退任に伴い，新たな委員を委嘱したい。

任期：令和5年4月19日～令和6年7月19日

区分	氏名	経歴・職業	備考
学校教育関係者	目黒 英樹	八千代市立勝田台南小学校長	新任

令和4年度「八千代市学校教育推進計画」アンケート調査結果及び考察

アンケートに答えた教職員の回答数	302
アンケート対象	20代から50代の教職員

アンケートに答えた保護者の回答数	494
アンケート対象	地域、保護者

A 大変よい B よい C もう少し D 努力がいる 肯定的な回答割合

基本施策1 安心・安全な教育環境の整備

			教職員				地域、保護者			
具体的な取組			A	B	C	D	A	B	C	D
取組	1	教育委員会は、地域の実情に応じて、小中義務教育学校の適正配置を推進している。	15.9	58.2	19.9	6.0	10.7	59.1	22.7	7.5
	2	教育委員会は、学校・保護者・地域住民の方からの要望があった施設整備について、適切な対応を進めている。	7.0	40.3	31.5	21.2	10.5	37.1	35.4	17.0
	3	経済的に就学困難な児童生徒の支援について、制度の周知及び申請の利便性の向上に努めている。	12.6	63.9	18.9	4.6	12.6	64.3	18.4	4.7
考察	【1 学校適正配置】 については、学校適正配置検討委員会及び通学区域審議会で検討・審議が行われているところであり、それが評価され、約70％の肯定的な回答があったと考えられる。今後も検討・審議を進めるにあたり、学区の再編や学校の適正配置について、学校、保護者、地域への周知に努めていく必要があると考えられる。									
	【2 学校教育施設の改修・整備】 については、学校により老朽化状況にばらつきがあるなか、老朽化が進んでいる学校から「もう少し」、「努力がいる」と回答を受けていると考えられる。今後もよりよい学校環境の整備に取り組む必要があると考えられる。									
	【3 就学困難な児童生徒の支援】 については、年度当初に全児童生徒を対象に就学援助の案内文書を配布しており、内容については、毎年改良を加えている。また、申請書の様式をホームページに掲載するなど、申請しやすい環境づくりに努めていることから、申請数も増加し肯定的な回答があったと考えられる。									

◆その他、お気づきのことがあればお書きください。

※無回答(特になし)…81.3%

※回答あり…18.7%

《主な記述》

【安心・安全な教育環境の整備について】

- ・学校施設の老朽化が気になる。
- ・生徒の机や椅子などが、古く、数が足りていない。
- ・遊具が少なく、また老朽化し、使用禁止・撤去した遊具の代替も予算の都合で設置できていない。
- ・施設設備の学校格差を縮めてほしい。
- ・校舎や体育館などの環境整備が進むと良い。例えば「避難所になる」という視点を入れた設備整備や雨漏りなどの補修を随時行うなどが目に見えて進んでいくと、子供たちや地域住民のためになると思う。
- ・就学困難な生徒への支援について、子ども相談センターとの連携や市としての教育相談体制の充実が求められる。
- ・学校現場での人不足が気になる。先生方を守る取組をお願いしたい。

【教育内容の充実について】

- ・生徒のSDGsへの関心が高く、素晴らしい取り組みだと感じる。
- ・一生懸命子どもたちのために頑張ってくださる先生方が多くいて、感謝している。
- ・先生方が限られた中で生徒の事を考え、とても頑張ってくれている。
- ・担任の先生の電話対応やスクールカウンセラーの先生との連携など、学年全体で子どもを見てくださり、大変ありがたく思っている。
- ・コロナ禍の中で、修学旅行やスキーなどを実施させたことは素晴らしいと感じている。
- ・ICT活用、タブレットを使った自宅学習のための環境整備などがさらに進むことで、個に応じた教育などにもつながっていくと感じる。
- ・タブレットを学校では活用していると思うが、家庭への持ち帰りができるようにしてほしい。
- ・教員の資質向上、若手教員の育成は急務であると感じる。働き方改革と教員育成の兼ね合いは非常に難しい問題。
- ・担任が行うことが多岐に渡り、負担が大きい。理科や体育の専科、外国語指導員、少人数指導などを増やしてもらえると、より個に応じた指導や専門的な指導が出来ると思う。
- ・地域の施設(特別支援学校、老人ホーム等)との交流がもっとあると子供達の視野が広がると思うので可能な範囲で実施してもらいたい。
- ・生徒一人一人に丁寧に寄り添い、地域との連携も積極的に取り入れている。

【特別支援教育の充実】

- ・通常学級における特別支援のニーズの高まりを年々感じる。教員の特別支援に対する知識を研修と実践で向上させるとともに、支援にさける時間を増やす取り組みも必要。
- ・教育支援教育への支援について、他機関との連携や市としての教育相談体制の充実が求められる。

【体育・健康・安全教育の充実について】

- ・部活動など先生方には大変お世話になっており感謝しかないが、先生方の負担も大きいかと心配している。部活動の指導は拘束時間が長いので、専属の先生を配置するなどしてほしい。子供にとっては毎日運動部で汗を流して、人間関係を学び心身に鍛えられることはとても必要。
- ・台風や雪などでの登校について、近隣市では前日から休校が決まっても八千代市は朝6時の警報を見てとのことが多々あった。

【本アンケートについて】

- ・コロナ禍で、保護者が学校に行く機会が減っていて、どんな状況にあるのかわかりづらい。
- ・全て回答したが、保護者の立場からは、質問の意味が正確にわからない設問が多く、回答に困った設問が多かった。